

1 指定物件の表示及び所有者

指定区分	有形文化財
種別	古文書
指定名称及び員数	承天寺の公帖並びに公帖関係史料 84点
所在地	福岡市博多区博多駅前一丁目29番9号
所有者	宗教法人 承天寺 代表役員 神保 至雲

2 概要

臨済宗東福寺派承天寺に所蔵される公帖（こうじょう）を中心とした中世・近世の古文書史料である。

公帖とは「室町幕府より頒布された、室町幕府の管掌下に在る禪宗寺院-即ち官寺-五山・十刹・諸山の三段階に分れる全国百有餘箇寺-の住持任命の辞令」（玉村竹二「公帖考」『日本禅宗史論集 二之下』）のことを言う。

足利義植公帖（永正十二年〔1515〕十一月廿八日）を初見とし、徳川家斉公帖（天保六年〔1835〕二月十四日）に至るまで歴代住持12代のものが残る。

初見の承天寺百世駿岳元甫の公帖には、筑前国守護大内義興の添え状とも言うべき遵行状が附属し、徳川幕府になってからは歴代徳川将軍の公帖と歴代福岡藩主の添え状が一組となって全てが伝えられている。

他には筑前守護大内義長の寺領安堵状、小早川秀秋寺領寄進状、豊臣秀吉朱印状（朝鮮出兵に関する書状、寺領の寄進状）、黒田如水書状（寺領安堵や病氣見舞いへの礼状）など寺領に関する安堵状・寄進状を中心とし承天寺々領の変遷その他を知ることができる。

承天寺の史料群は広渡正利編著『博多承天寺史』（文献出版 1977.3.6）、同『博多承天寺史補遺』（文献出版 1990.5.26）に紹介されている。また、承天寺史料の全容は『万松山承天寺所蔵品目録-福岡県歴史資料調査報告書 第一集-』（福岡県文化会館 1978.3.31）にまとめられ、その成果は、1981年福岡県文化会館で開催された「博多承天寺展」で公開され、同名の図録も公刊されている。

2009年8月、福岡市史編纂に伴って市史編纂室により中世・近世文書の調査が写真撮影とともに行われた。恐らく30年振りの全体的な調査ではなかったかと思われる。

3. 指定理由

室町幕府の管掌下に在る禅宗寺院の寺格を定めた五山・十刹・諸山の制度の下で、室町幕府が発給した住持職辞令である公帖の形式・手続は江戸幕府にも継承されており、中・近世、十刹の寺格を有した承天寺には百世駿岳元甫の公帖を始めとして、江戸時代歴代住持の公帖が伝えられている。

しかしながら、「公帖は一部の禅宗寺院にしか伝わらず、(中略)しかもこれは一部の禅宗寺院の秘庫に奥深く蔵せられていることもあって、近世の研究者にも余りなじみの深いものではない」と言われる(上島有「近世の武家書札礼と公帖-南禅寺公帖の形態論的研究-」『摂大学術』Ser. B No.5 摂南大学国際言語文化学部 1987)。その稀少・貴重性を示すが如く、駿岳元甫宛の公帖(No.3)は相田二郎『日本の古文書 上』(岩波書店 1949)、玉村竹二「公帖考」(1975)にも筑前国守護大内義興遵行状(No.4)とともに紹介されている。また江戸期のものについても、今泉淑夫『鹿苑院公文帳』(史料纂集 1996)は一節を設けてNo.13. 14、No.15. 16、17を論じられている。家康の公帖(No.14. 15)は稀少であるらしく、玉村竹二「公帖考」(1975)では本公帖を含んだ5点しか紹介されていない。

他藩との比較はできないが、江戸期に入っても大内氏の遵行状に倣うかのように、歴代の福岡藩主が添状を出していることは、それに近接して発給された寺領寄進状(No.18. 23. 29. 56. 75.)とともに承天寺の公帖の大きな特徴であり、また福岡藩における承天寺の地位を現すものではないかと思われる。

「龍門和尚乗拂登洛日記」(No.66)は南禅寺金地院で公帖を拝受するために上洛した時の旅日記、「東堂改衣官庁本山往復記」(No.76)は承天寺住持職から本山東福寺住持職に昇位する際の旅日記であり、公文書では知れにくい世事や手続きが窺える。

なお、「當山歴代諸記録」(No.83 天保三年)は所蔵の古文書・記録を元にした当時の「承天寺史」ともいべきものである。

「承天寺の公帖並びに公帖関係史料 84点」は公帖の形式や住持職任命の手順、伝達のあり方を示す古文書学上にも貴重な文書群であり、一寺承天寺にのみにとどまらない歴史的価値を有している。

承天寺の公帖並びに公帖関係史料

No.	文書名	年代・日付	西暦	法量・紙質・形態・員数	県目録
1	承天寺寺衆等連署置文写	応永十九年三月九日	1412	一軸	1
2	承天寺寺衆等連署置文写	永享二年庚戌七月四日	1430	一軸	2
3	権大納言足利義種公帖	永正十二年十一月廿八日	1515	34.8×68.4・楮紙・竪紙・一紙	3
4	筑前国守護大内義興遵行状	永正十三年五月二十三日	1516	27.0×43.4・楮紙・竪紙・一幅	4
5	大内義隆書下案	〔天文九年〕九月八日	〔1540〕	24.3×35.6・楮紙・竪紙・一幅	18
6	隆延寄進状	天文十八年三月五日	1549	27.3×50.5・楮紙・竪紙・一幅	7
7	筑前国守護大内義長安堵状	天文二十一年九月十八日	1552	31.9×49.5・楮紙・竪紙・一幅	8
8	豊臣秀吉朱印状	文禄四年十二月一日	1595	22.0×56.5・楮紙・切紙(原折紙力)・一幅	10
9	豊臣秀吉朱印状	五月二十三日	不詳	22.0×56.5・楮紙・切紙(原折紙力)・一幅	17
10	小早川秀秋寄進状	慶長四年七月七日	1599	14.2×44.4・楮紙・切紙(原折紙力)・一幅	11
11	黒田如水書状	〔慶長五年〕十一月二十二日	〔1600〕	15.2×47.8・楮紙・切紙・一幅	20
12	黒田如水書状	〔慶長七年〕一月十八日	〔1602〕	14.6×44.2・楮紙・切紙・一幅	16
13	徳川家康公帖	慶長八年七月二十八日	1603	46.6×65.8・大高檀紙・一紙	13
14	徳川家康公帖	慶長八年九月五日	1603	46.5×65.9・大高檀紙・一紙	14
15	徳川家光公帖	寛永七年四月一日	1630	45.5×61.5・大高檀紙・一紙	24
16	黒田忠之公帖添状	寛永七年四月五日	1630	38.2×53.7・檀紙・竪紙・一紙	25
17	徳川家光公帖	寛永七年五月四日	1630	45.3×62.3・大高檀紙・一紙	26
18	黒田忠之寺領寄進状	寛永十八年二月三日	1641	17.5×52.1・楮紙・切紙(原折紙)・一紙	27
19	恵阜祢下三輪未錬懺主令中印信	延宝五年一月十七日	1677	37.0×61.6・楮紙・竪紙・一紙	35
20	徳川家綱公帖	延宝六年九月十七日	1678	46.7×65.8・大高檀紙・一紙	37
21	徳川家綱公帖	延宝六年十月十七日	1678	46.7×65.8・大高檀紙・一紙	39
22	黒田光之公帖添状	延宝七年七月十三日	1679	40.9×54.3・檀紙・竪紙・一紙	40
23	黒田光之寺領寄進状	天和元年十一月十五日	1681	19.8×52.1・楮紙・切紙(原折紙)・一紙	41
24	金地院崇寛覚(前後欠)	天和三年四月二十九日	1683	①27.8×42.9②27.8×43.0③27.8×42.4・楮紙・継紙・三枚	44
25	公状目録	天和三年六月十七日	1683	①32.1×40.4②32.3×45.3・楮紙・二枚、中欠	45
26	徳川綱吉公帖	元禄八年十月十五日	1695	46.6×66.0・大高檀紙・一紙	48
27	徳川綱吉公帖	元禄八年十一月三十日	1695	46.7×66.2・大高檀紙・一紙	50
28	黒田綱政公帖添状	元禄九年七月十九日	1696	47.0×64.3・大高檀紙・一紙	51
29	黒田綱政寺領寄進状	宝永元年九月二十一日	1704	19.8×52.1・楮紙・切紙(原折紙)・一紙	59
30	黒田継高寺領寄進状	享保八年三月十五日	1723	19.8×52.1・楮紙・切紙・一紙	65
31	本寺恵日山転位並普門寺控塔之	享保八年癸卯四月	1723	27.6×19.7・楮紙・書冊・一冊(6丁)	66
32	澤源座元転位告諭状	三月五日		檀紙・竪紙・一紙	341
33	徳川吉宗公帖	享保十一年二月九日	1726	46.3×65.7・大高檀紙・一紙	67
34	徳川吉宗公帖	享保十一年三月十四日	1726	46.3×65.7・大高檀紙・一紙	68
35	黒田継高公帖添状	享保十一年九月十三日	1726	44.7×63.3・大高檀紙・一紙	69
36	承天寺由来書	享保十一年十一月	1726	①27.8×43.0②27.8×42.7③27.8×42.8・楮紙・継紙・三枚	70
37	御判物目録	享保十七年七月十七日	1732	14.0×42.3・楮紙・切紙・一紙	81
38	円因首座転位推挙状案	宝暦二年十二月十八日	1752	45.6×59.2・檀紙・竪紙・一紙	89
39	徳川家重公帖	宝暦四年二月十六日	1754	46.2×65.4・大高檀紙・一紙	90
40	徳川家重公帖	宝暦四年閏二月二十四日	1754	46.0×65.3・大高檀紙・一紙	91
41	黒田継高公帖添状	宝暦四年十月二十三日	1754	45.3×59.1・檀紙・竪紙・一紙	93
42	黒田治之寺領寄進状	明和八年九月六日	1771	19.7×52.1・楮紙・切紙・一紙	95
43	承天寺寺衆連署状	明和九年十一月	1772	41.6×57.9・檀紙・竪紙・一紙	96
44	安永二癸巳三月御触二付寺格書上之控	巳三月	1773	25.6×19.0・楮紙・書冊・一冊(39丁)	98
45	円願首座転位推挙状案	安永二年閏三月七日	1773	40.9×54.3・楮紙・竪紙・一紙 切封帯アト	99
46	徳川家治公帖	安永五年十月二十一日	1776	46.2×64.4・大高檀紙・一紙	103
47	徳川家治公帖	安永五年十一月二十八日	1776	46.3×64.9・大高檀紙・一紙	104
48	黒田治之公帖添状	安永六年六月十日	1777	45.5×59.1・檀紙・竪紙・一紙	105
49	東福寺招請状	天明四年一月	1784	36.7×49.8・楮紙・竪紙・一紙	111
50	奉願口上之覚	天明四年辰二月	1784	16.4×46.5・楮紙・書綴・一冊(3丁)	112
51	徳川家治公帖	天明五年一月二十二日	1785	46.2×65.4・大高檀紙・一紙	113
52	僧臘位階之次第	天明五年乙巳四月	1785	24.4×18.5・楮紙・書冊・一冊(13丁)	116
53	九条家ヨリ東福歴住之御推奨ノ往復ノ書状	天明五年九月十六日	1785	24.0×16.2・楮紙・書冊・一冊(11丁)	117
54	南堂座元転位勸請状	天明八年十一月十七日	1788	45.5×58.7・檀紙・竪紙・一紙	120
55	南堂座元本山座提倡告諭状	寛政四年壬子四月	1792	35.1×54.6・檀紙・竪紙・一紙	121
56	黒田斉隆寺領寄進状	寛政五年十一月三十日	1793	19.7×52.1・楮紙・切紙・一紙	124
57	徳川家斉公帖	寛政六年八月八日	1794	46.3×65.5・大高檀紙・一紙	125
58	徳川家斉公帖	寛政六年九月二十日	1794	46.2×65.4・大高檀紙・一紙	126
59	黒田斉隆公帖添状	寛政七年六月十六日	1795	45.5×59.7・檀紙・竪紙・一紙	127
60	南堂東堂改衣諸般記	〔寛政十二年〕	〔1795〕	24.5×18.5・楮紙・書冊・一冊(56丁)	129

* 目録番号は『万松山承天寺所蔵品目録—福岡県歴史資料調査報告書 第一集—』(1978)に依拠した。

承天寺の公帖並びに公帖関係史料

No.	文書名	年代・日付	西暦	法量・紙質・形態・員数	県目録
61	徳川家齊公帖	寛政十二年一月十五日	1800	45.8×65.2・大高檀紙・一紙	130
62	龍門座元本山分座提唱告諭状	文化六年己巳一月	1809	40.8×56.0・檀紙・堅紙・一紙	135
63	黒田濟(マ)清寺領寄進状	文化八年十一月二十八日	1811	19.7×52.1・楮紙・切紙・一紙	137
64	万松山承天禪寺僧籍	文化十二年	1815	25.1×18.8・楮紙・書冊・一冊(91丁)	140
65	円舒首座転位推挙状案	[文政六年]	[1823]		408
66	龍門和尚秉拂登洛日記	文政六年	1823	二曲一雙(貼交屏風)29紙を貼付	
67	徳川家齊公帖	文政六年十二月十日	1823	46.2×65.7・大高檀紙・一紙	145
68	徳川家齊公帖	文政七年二月十二日	1824	46.2×65.7・大高檀紙・一紙	146
69	黒田齊清公帖添状	文政八年十月十一日	1825	45.7×60.1・檀紙・堅紙・一紙	148
70	大完座元囑状	文政十一年戊子十月望	1828	45.8×59.0・檀紙・堅紙・一紙	150
71	円空首座囑状	文政十一年戊子十月十三日	1828	45.5×58.9・檀紙・堅紙・一紙	151
72	徳川家齊公帖	天保六年一月十七日	1835	45.9×65.8・大高檀紙・一紙	154
73	徳川家齊公帖	天保六年二月十四日	1835	46.0×65.2・大高檀紙・一紙	155
74	黒田齊溥公帖添状	天保六年十月二十日	1835	46.0×60.3・檀紙・堅紙・一紙	156
75	黒田齊溥寺領寄進状	天保六年十月二十日	1835	20.1×52.1・楮紙・切紙・一紙	157
76	東堂改衣官庁本山往復記	天保十年己亥三月	1839	24.6×18.2・楮紙・書冊・一冊(77丁)	158
77	徳川家定公帖	安政二年十二月十日	1855	46.0×65.4・大高檀紙・一紙	167
78	松陰座元囑状	安政七年閏三月旦	1860	44.7×58.3・檀紙・堅紙・一紙	171
79	円関首座囑状	安政七年閏三月旦	1860	44.7×58.6・檀紙・堅紙・一紙、包紙59.0×44.8「(方朱印)円関首座」	172
80	円関蔵司囑状	安政七年三月二十六日	1860	44.7×58.3・檀紙・堅紙・一紙、包紙59.1×45.1「(方朱印)円関蔵司」	173
81	筑之前州万松山勅賜承天禪寺住持帳			一卷 桐箱蓋墨書「承天住籍」	383
82	万松山承天禪寺什物			書冊・一冊	400
83	當山歴代諸記録	天保三年	1832	書冊・一冊	
84	塔頭関係禪師書上			書冊・一冊	

* 目録番号は『万松山承天寺所蔵品目録—福岡県歴史資料調査報告書 第一集—』(1978)に依拠した。



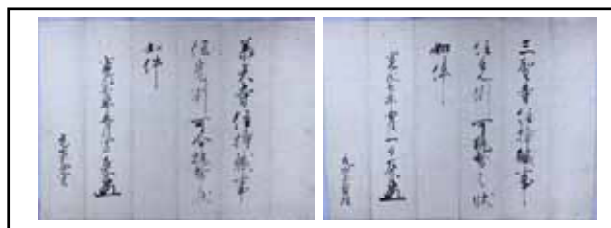
No.3 権大納言足利義植公帖 室町幕府11代將軍
永正十二(1515)年十一月廿八日 34.8×68.4・楮紙・豎紙・一紙
駿岳元甫 延徳二(1490)年~天正三(1490)年



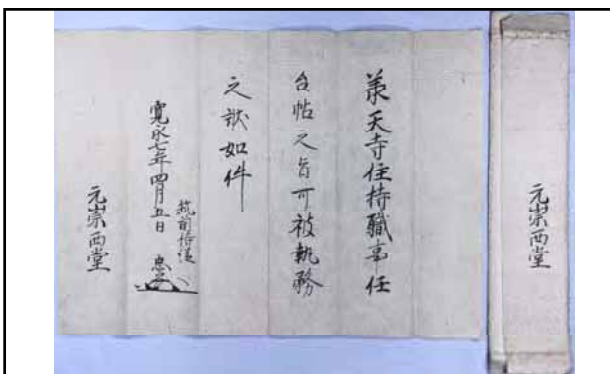
No.4 筑前国守護大内義興遵行状 元甫西堂宛 軸装
永正十三(1516)年五月廿三日 27.0×43.4・楮紙・豎紙・一幅
駿岳元甫 延徳二(1490)年~天正三(1490)年



No.13 徳川家康公帖 46.6×65.8・大高檀紙・一紙
慶長八(1603)年七月廿八日
摂州廣嚴寺住職 圓般首座
No.14 徳川家康公帖 46.5×65.9・大高檀紙・一紙
慶長八(1603)年九月五日
筑前承天寺住職 圓般西堂
鉄舟圓般 元和五(1619)年没



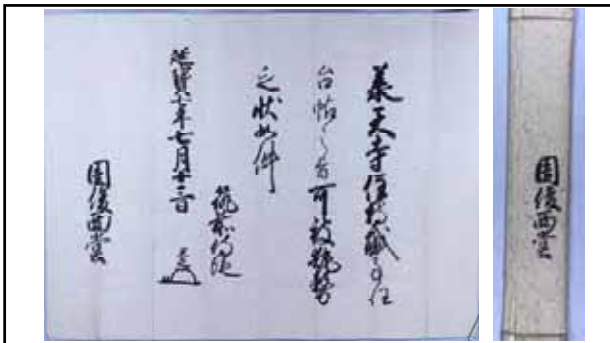
No.16 徳川家光公帖 45.5×61.5・大高檀紙・一紙
寛永七(1630)年四月一日
三聖寺住職 元崇首座
No.17 徳川家光公帖 45.3×62.3・大高檀紙・一紙
寛永七(1630)年五月四日
筑前承天寺住職 元崇西堂
登叔元崇 天正九年(1581)~寛永十八(1641)年



No.16 黒田忠之公帖添状 福岡藩二代藩主
寛永七(1630)年四月五日 45.3×62.3・大高檀紙・一紙
登叔元崇 天正九年(1581)~寛永十八(1641)年



No.20.21 徳川家綱公帖延寶六年(1678) 四代將軍
禪光寺住持職回俊首座
承天寺住持職回俊西堂
北源圓俊 元和三年(1617)~元禄十三年(1700)



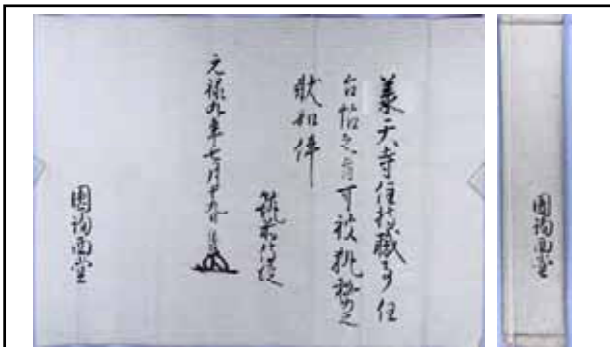
No.22 黒田光之公帖添状 延寶七年(1679) 三代藩主
承天寺住持職 圓俊西堂

北源圓俊 元和三年(1617)～元禄十三年(1700)



No.26. 27 德川綱吉公帖 元禄八年(1695) 五代將軍
禪光寺住持職圓詢首座
承天寺住持職圓詢西堂

大川圓詢 慶安三年(1650)～宝永七年(1710)



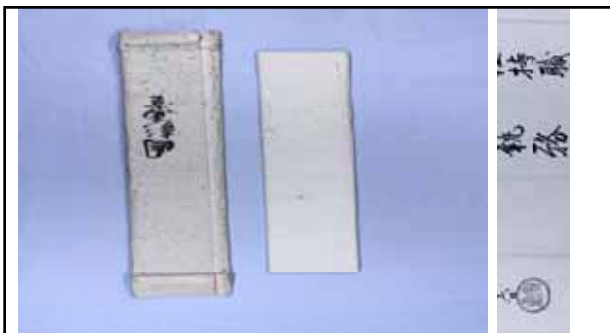
No.28 黒田綱政公帖添状 元禄九年(1696) 四代藩主
承天寺住持職圓詢西堂

大川圓詢慶安三年(1050)～宝永七年(1710)



No.33. 34 德川吉宗公帖 享保十一年(1726) 八代將軍
禪光寺住持職圓彰首座
承天寺住持職圓彰西堂

澤源圓彰 延宝六年(1678)～享保十八年(1723)



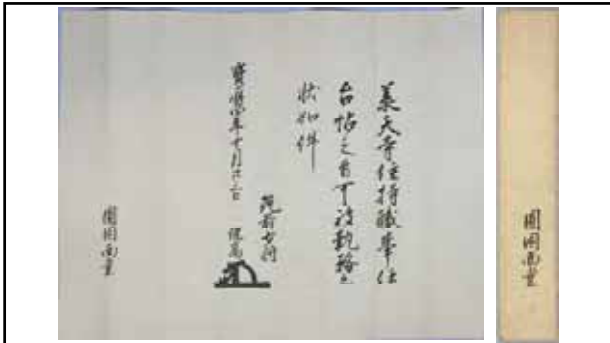
No.35 黒田繼高公帖添状 享保十一年(1726) 六代藩主
承天寺住持職圓彰西堂

澤源圓彰 延宝六年(1678)～享保十八年(1723)



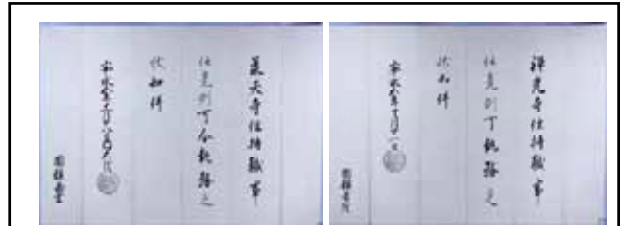
No.39. 40 德川家重公帖 宝曆四年(1754) 九代將軍
禪光寺住持職圓因首座
承天寺住持職圓因西堂

密田圓因安永3(1774)没



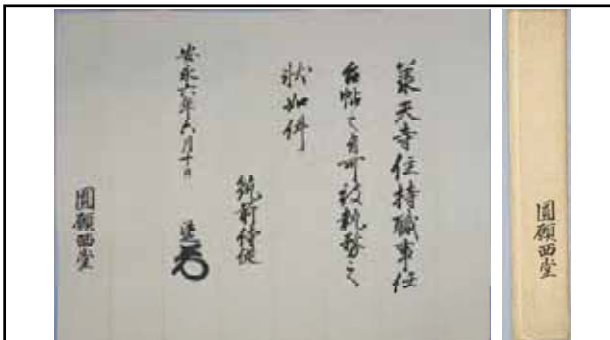
No.41 黒田継高公帖添状 宝曆四年(1754)六代藩主 承天寺住持職圓因西堂

密田圓因安永3(1774)没



No.46. 47 徳川家治公帖 安永五年(1776) 十代將軍 禪光寺住持職圓願首座 承天寺住持職圓願西堂

大心圓願 享保十三年(1728)~文化十三年(1813)



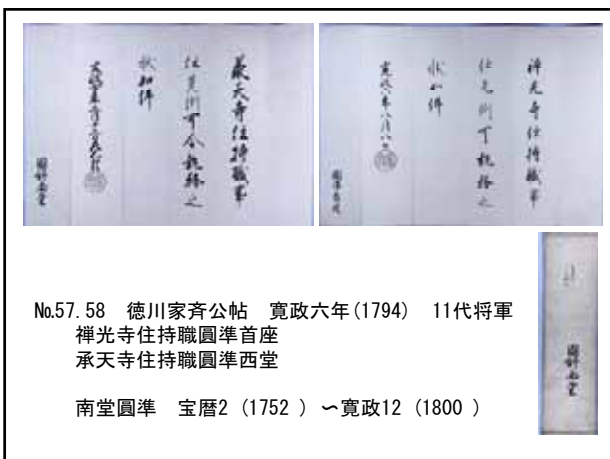
No.48 黒田治之公帖添状 安永六年(1777) 七代藩主 承天寺住持職圓願西堂

大心圓願 享保十三年(1728)~文化十三年(1813)



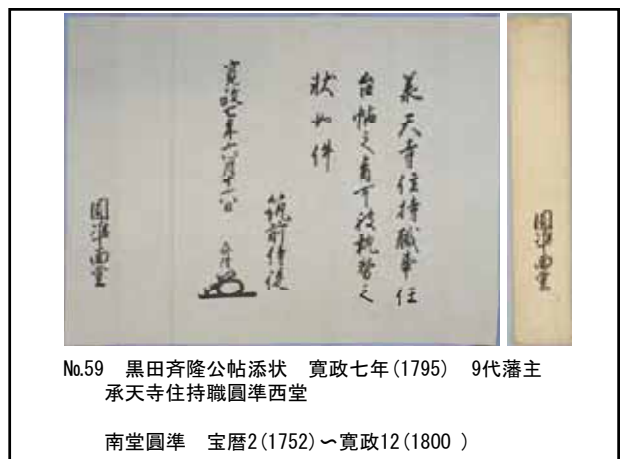
No.51 徳川家治公帖 天明五年(1785) 十代將軍 東福寺住持職圓願西堂

大心圓願 享保十三年(1728)~文化十三年(1813)



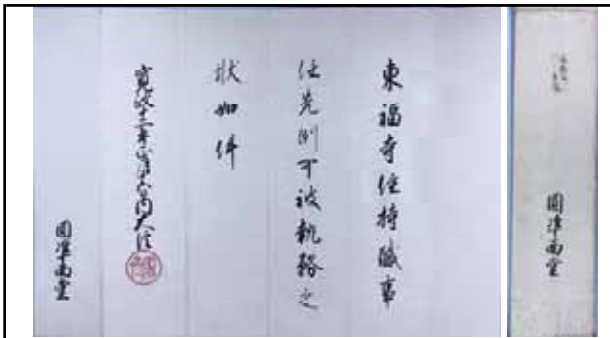
No.57. 58 徳川家斉公帖 寛政六年(1794) 11代將軍 禪光寺住持職圓準首座 承天寺住持職圓準西堂

南堂圓準 宝曆2(1752)~寛政12(1800)



No.59 黒田斉隆公帖添状 寛政七年(1795) 9代藩主 承天寺住持職圓準西堂

南堂圓準 宝曆2(1752)~寛政12(1800)



No.61 德川家齊公帖 寛政十二年(1800) 11代將軍
東福寺住持職圓準西堂
南堂圓準 宝曆二年(1752)~寛政十二年(1800)



No.67. 68 德川家齊公帖 文政七年(1824) 11代將軍
禪光寺住持職圓舒首座
承天寺住持職圓舒西堂
龍門圓舒 安永三年(1774)~文政十一年(1828)



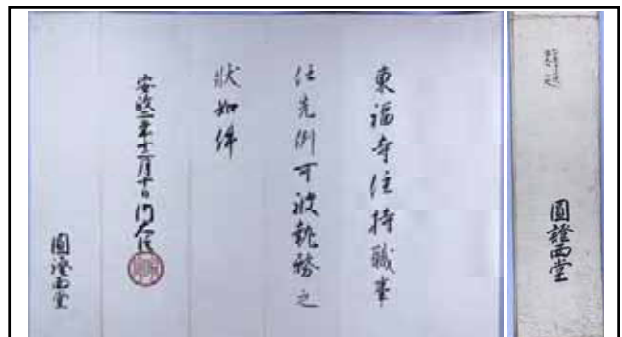
No.69 黑田齊清公帖添狀 文政八年(1825) 10代藩主
承天寺住持職圓舒西堂
龍門圓舒 安永三年(1774)~文政十一年(1828)



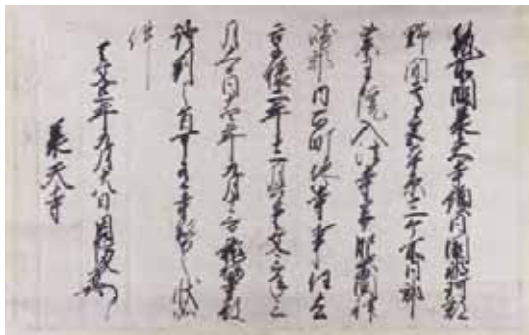
No.73. 74 德川家齊公帖 天保六年(1835) 11代將軍
禪光寺住持職圓證首座
承天寺住持職圓證西堂
大完圓證 寛政十一年(1799)~安政六年(1859)



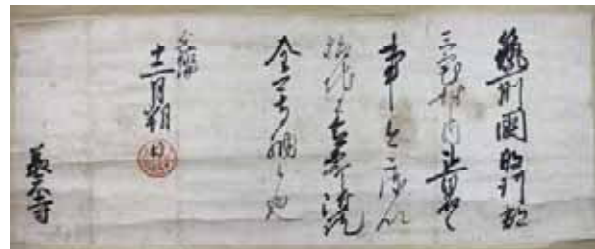
No.74 德川齊清公帖添狀 天保六年(1835) 11代藩主
承天寺住持職圓證西堂
大完圓證 寛政十一年(1799)~安政六年(1859)



No.77 德川家定公帖 安政二年(1855) 13代將軍
東福寺住持職圓證西堂
大完圓證 寛政十一年(1799)~安政六年(1859)



No.7 筑前国守護大内義長安堵状
天文廿一年(1552)九月十八 日 承天寺宛
31.9×49.5cm 軸装



No.8 豊臣秀吉朱印状 文禄四年(1595)十二月朔日
承天寺宛

22.0×56.5cm 軸装

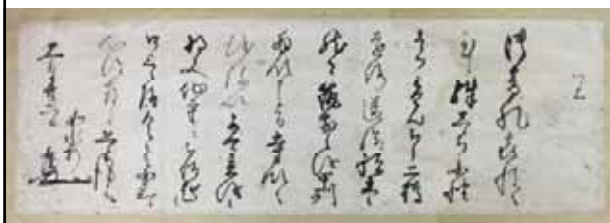


No.9 豊臣秀吉朱印状 五月廿三日 蘇西堂宛
22.0×65cm 軸装



No.10 小早川秀秋寄進状 慶長四年(1599)七月七日
承天寺宛

14.2×44.4cm 軸装



No.11 黒田如水書状
〔慶長五(1600)年〕十一月廿二日
15.2×47.8cm 軸装

年代の比定は広渡正利『承天寺史』に拠る



No.12 黒田如水書状
〔慶長七(1602)年〕正月十八日
14.6×44.215.2×47.8cm 軸装

年代の比定は広渡正利『承天寺史』に拠る